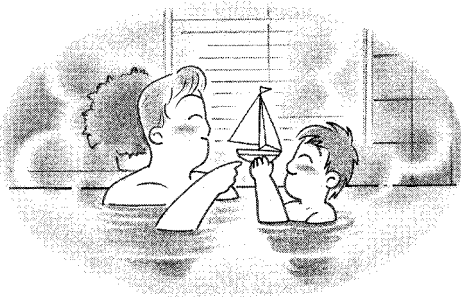


ガス給湯暖房機

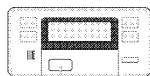
取扱説明書



機 能	品 番	型 式 名	設置方式
24号全自動 熱動弁内蔵 2温度タイプ	135-0100	AT-4200ARSAW6Q	屋外式
	135-0102	AT-4200ARSAW6Q-C	
	135-0103	AT-4200ARSAW6Q-D	
	135-0104	AT-4200ARSAW6Q-F	
	135-0105	AT-4200ARSAW6Q-E	
	135-0106	AT-4200ARSAW6Q-H	屋内式
24号全自動 熱動弁外付け 2温度タイプ	135-0108	AT-4200AFSAW6Q	
	135-0200	AT-4200ARSAWQ	屋外式
	135-0202	AT-4200ARSAWQ-C	
	135-0203	AT-4200ARSAWQ-D	
	135-0204	AT-4200ARSAWQ-F	
	135-0205	AT-4200ARSAWQ-E	
16号自動 熱動弁内蔵 2温度タイプ	135-0206	AT-4200ARSAWQ-H	屋内式
	135-0208	AT-4200AFSAWQ	
	135-4050	AT-2801ARSSW3Q	屋外式
	135-4052	AT-2801ARSSW3Q-C	
	135-4053	AT-2801ARSSW3Q-D	
	135-4054	AT-2801ARSSW3Q-F	
	135-4055	AT-2801ARSSW3Q-E	
	135-4056	AT-2801ARSSW3Q-H	屋内式
	135-4058	AT-2801AFSSW3Q	
	135-4059	AT-2801ARSSW3Q-FC	屋外式



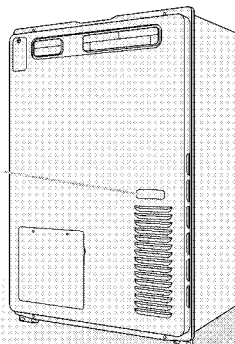
品番



品番



品番

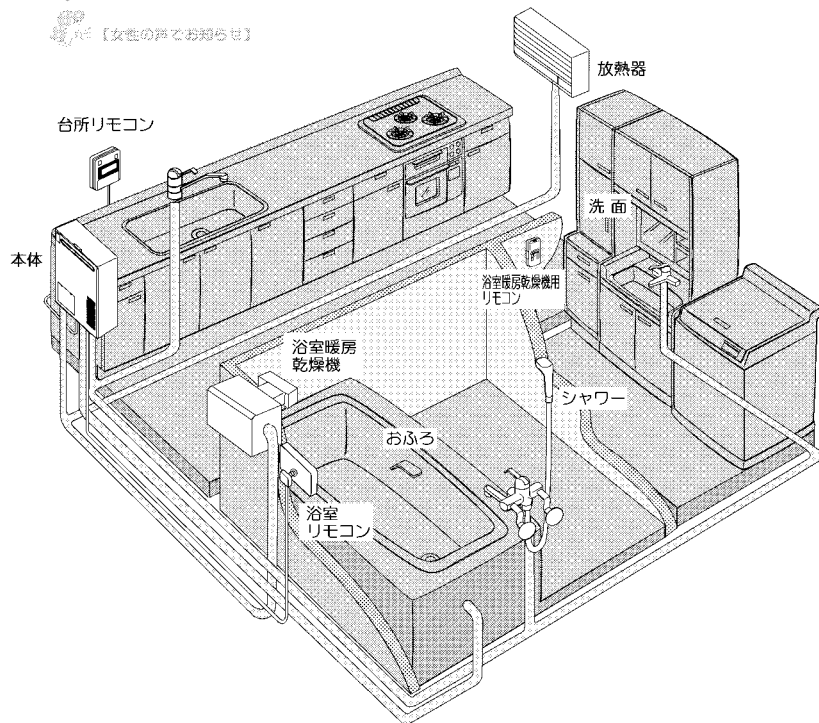


この取扱説明書は全自動タイプ、自動タイプ共通です。熱源機を確認の上、必要箇所をお読みになってください。
共通する説明のイラストは、全自動タイプで説明しています。

- 適温・適量のお湯はりができれば自動停止するお湯はり運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。
- 給湯の断続的な使用時に温度変化の少ない、Q機能付。
- 操作の内容を声やメロディーでお知らせする音声お知らせ機能付リモコン。

♪【メロディーでお知らせ】

🗣️【女性の声でお知らせ】



- このたびはガス給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
 - 別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
 - 来客者などが熱源機を使用されるときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
 - この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはよりのガス会社にて再購入してください。
 - 本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく熱源機の寿命が縮まります。

お手持ちのリモコンを確認の上、必要箇所をお読みになつてください。
説明のイラストは異なる場合があります。

音声お知らせ機能付リモコン

138-3035 (別売品)

浴室リモコン
(優先・呼出
スイッチ付)



台所リモコン
(暖房スイッチなし)



138-3036 (別売品)

浴室リモコン
(優先・呼出
スイッチ付)

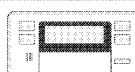


台所リモコン
(暖房スイッチ付)



138-3037 (別売品)

浴室リモコン
(優先・呼出
スイッチ付)

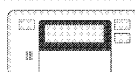


台所リモコン
(浴室予備暖房
スイッチ付)



138-3038 (別売品)

浴室リモコン
(優先・呼出
スイッチなし)



138-3039 (別売品)

増設リモコン



もくじ

ページ

必ず お読みください

安全上のご注意	6~11
使用上のお願い	12~13

すぐ 使いたいとき

早見表(使いかた一覧)	4~5
初めてお使いになるとき	14~15
お湯の出しかた	16~17
お湯はりのしかた	18~19
湯かげん調節のしかた	20
足し湯・シャワーの使いかた	21
暖房・浴室暖房 (暖房水の補給)のしかた	22~23

もっと 使いこなしたいとき

詳しくは取扱説明書をご覧ください。

優先/静音運転のしかた	24
呼出/入浴剤について	25
ふろ湯量の設定のしかた	26~27
ふろ温度の設定のしかた	26~27
お湯はり予約のしかた	28~29
お知らせパターン(音声お知らせ)・ 音量・保温時間の設定のしかた	30~31
日常の点検とお手入れ	32~33

もし 必要なとき

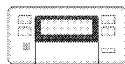
故障がな?	34~37
凍結予防について	38~41
各部のなまえ (浴室・台所・増設リモコン・本体)	42~44
仕様	45~47
アフターサービスについて	50
索引	51

安全上のご注意

使う

使いこなす

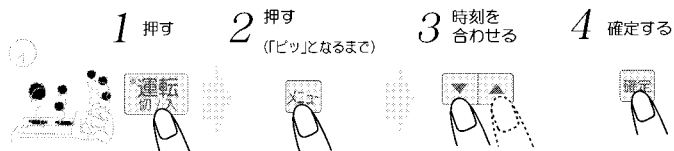
必要なとき



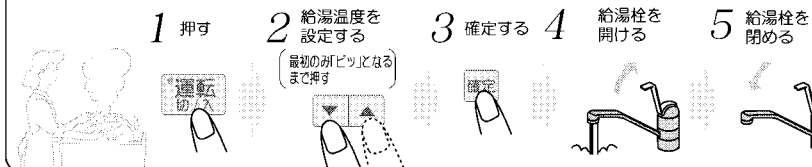
早見表（使いかた一覧）



時刻を合わせる・・・P15参照

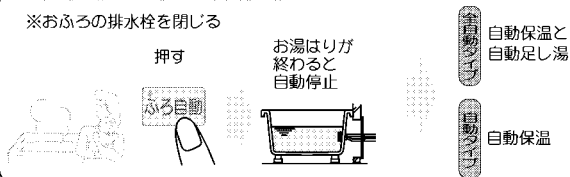


お湯を出す・・・P16～17参照



お風呂にお湯をはる・・・P18～19参照

※お風呂の排水栓を閉じる



お風呂のお湯をあつくる・・・P20参照

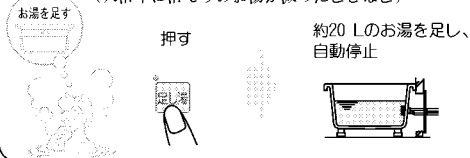


お風呂のお湯をぬるくする・・・P20参照



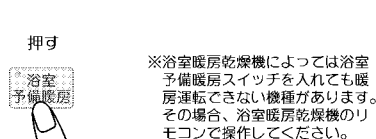
お風呂のお湯を足す・・・P21参照

(人浴中に浴そうのお湯が減ったときなど)



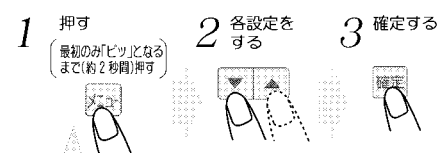
＜浴室予備暖房スイッチ付の台所リモコンのみ＞

浴室を予備暖房する・・・P23参照

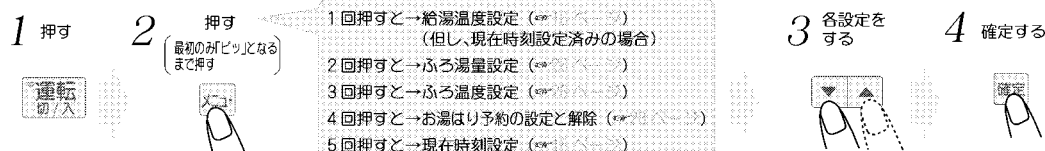


メニュースイッチで・・・
(お知らせパターン・音量・保温時間・現在時刻)

※運転「切」の状態を設定する。



メニュースイッチで・・・(給湯温度・お風呂湯量・お風呂温度・お湯はり予約・現在時刻)



- 1 回押すと→お知らせパターン設定 (※P23参照)
(但し、現在時刻設定済みの場合)
- 2 回押すと→音量設定 (※P23参照)
- 3 回押すと→保温時間設定 (※P23参照)
- 4 回押すと→現在時刻設定 (※P15参照)

安全上のご注意

必ずお守りください

※混合水栓は、レバーを上げた状態で給湯栓「開」の場合で説明しています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見誤って誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

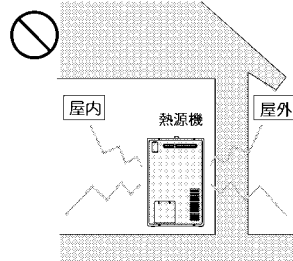
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

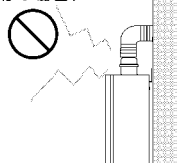
設置工事時のご注意

屋内に設置しない（屋外式の場合）



燃焼排ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

給排気筒が外れたり、つままった状態で使用しない（給排気筒使用の場合）



燃焼排ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

屋外に設置しない（屋内式の場合。ただし、パイプシャフト設置の場合は除く）



炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水が入り熱源機故障の原因となります。

危険

もし異常が起きたら

ガス漏れに気付いたときは、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社に連絡する



窓や戸を全開にする
(屋内式の場合)



ガス会社に連絡する
(この時、周辺の電話は使用しない)

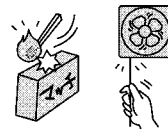


そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

警告

給湯・シャワー使用時のご注意

シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する



確認を怠ると、やけどの原因となります。

熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める



水側を先に止めると配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位置まで回す



途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

混合水栓を使用している場合他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります



急に熱い湯が出ることがあります。
●配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。

給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたり運転「切」にされると冷水になり、びっくりしてけがの原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

電源コード・プラグについて

電源プラグは根本まで確実に差し込む



差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

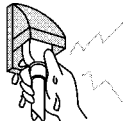
電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにはこりなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

長期間使用しないとき

お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする



旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう
(※39～40ページ)

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC 100 V以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない



傷つけたり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

もし異常が起きたら

異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う



- ① 給湯栓を閉める
- ② 運転スイッチおよび放熱器を「切」にする
- ③ 給水元栓・ガス栓を閉める
- ④ お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する

そのままにしておくと火災の原因となります。

ご使用について

浴そうフィルターを外して使用しない



思わぬ事故の原因となります。

子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうの循環口付近に潜ったりしない



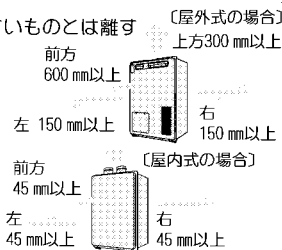
思わぬ事故の原因となります。

ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



火災の原因となります。

燃えやすいものとは離す



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

給湯・シャワー使用時はまず優先表示の点灯・設定温度を確認する



確認を怠ると、やけどの原因となります。

給排気口(給排気筒トップ)をおおわない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

給湯使用後すぐには循環口付近に近づかない



浴そうに水がない状態で「浴そう」または「浴そう」を押すと、循環口からあつい湯が出てやけどの原因となります。

スプレー缶を給排気口(給排気筒トップ)の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

増改築などにより屋内状態にしない
(波板などにより囲いをしない。)



十分な給排気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



正常に熱源機が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

修理・分解・改造について

お客様ご自身で修理・分解・改造をしない
(フロントカバーを外さない)



不備が生じた場合、火災や熱源機故障の原因となります。
● 販売店に依頼してください。

必ずお守りください

電源・ガスについて

他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

電池の取り扱いについて

- 大型ごみなどで廃棄する場合、必ず電池を取り外す
- 新旧・異種の電池は混用しない
- 充電・ショート・分解・加熱・火の中へ投入しない

液もれ、発熱、発火、破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

- 万一液もれが発生し、液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

ご使用について

ご確認ください

点火時、消火時、使用中はリモコンの燃
焼表示の点灯・消灯を確認する

! 確認を怠ると、熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

アース接続されていることを確認する

! 漏電が生じた場合、感電の原因となります。

- アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

凍結後、再使用する際は全ての給湯栓から水が出ることを確認し、熱源機および配管から水漏れのないことを確認する。

! 水漏れによる床や壁などの損害は、
お客様のご負担となります。

接続について

ソーラー(太陽熱温水)システムに接続しない

 高温水が出て、やけどや熱源機故障の原因となります。

点検・お手入れについて

点検・お手入れ時は次の手順に従う

- ①給水元栓・ガス栓を閉める
- ②電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする
- ③熱源機が冷えてから行なう

上記手順に従わないと、やけどや熱源機故障の原因となります。

給湯・シャワー・お湯はり・追いだき・温水
暖房・浴室乾燥用として使用する

! 他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

使用中や消火直後は、排気口(給排気筒トップ)・天面付近に触れない

 禁止触摸

やけどの原因となります。

熱源機内に長時間たまっていた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない

健康を損なう恐れがあります。
(雑用水としてお使いください。)

熱源機の上にのったり、物をのせたりしない。

 やけとや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

設置について

排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない

火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

●販売店にご相談ください。

車両・船舶への設置はしない

 振動により熱源機が転倒し、火災
や熱源機故障の原因となります。

床暖房・パネルヒーターについて

床暖房の上に電気カーペットを敷かない

 床材の割れ、そり、隙間の原因
となります。

カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない

 温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

パネルヒーターの表面は触らない
 (パネルヒーター使用の場合)

 接触禁止 やけどの原因となります。

床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間座ったり、寝そべったりしない

 低温やけどの原因となります。

使用上のお願い

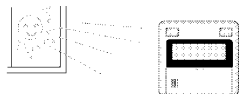
断水のときは

断水のときは給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

そのままにしておくと、熱源機故障の原因となります。

リモコンの使用場所について

台所リモコンは直射日光、水しぶき・蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない



水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

浴室リモコンは直射日光の当たる場所で使用しない、設置しない

浴室リモコン故障の原因となります。

ご確認ください

熱源機に「法定のステッカー」が貼付されていることを確認する（屋内式の場合）

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

混合水栓使用の場合

混合水栓を使用の場合、ときどき水だけを流す、またサーモミキシングバルブご使用時はリモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め(3~5℃)にする

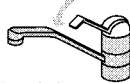
給水側の水を長い間使用しないと、一瞬にこった湯（赤水など）が出る場合があります。

混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

停電のときは

停電のときは、給湯栓を閉める



燃焼が停止し、水になります。

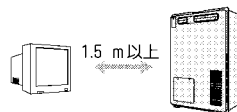
ご使用後は

使用後は運転スイッチを「切」にする

凍結して給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

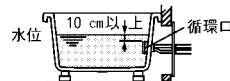
ご使用について

テレビやラジオとは1.5 m以上離す



上記の距離を確保しないと雑音の原因となります。

追いつきときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



熱源機故障の原因となります。

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで熱源機に影響のないものを使用する
入浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障の原因となるものがあります。(p.25ページ)

この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

24時間風呂には使用しない

24時間風呂への対応はしていません。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

浴そう内の循環口はタオルなどでふさがれない

熱源機故障の原因となります。

燃焼中、電源プラグを抜いてまたはブレーカ「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

温泉水や自家用井戸水などで使用すると水質によっては熱源機の耐久性を損なう場合があります

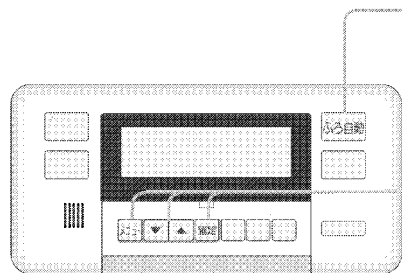
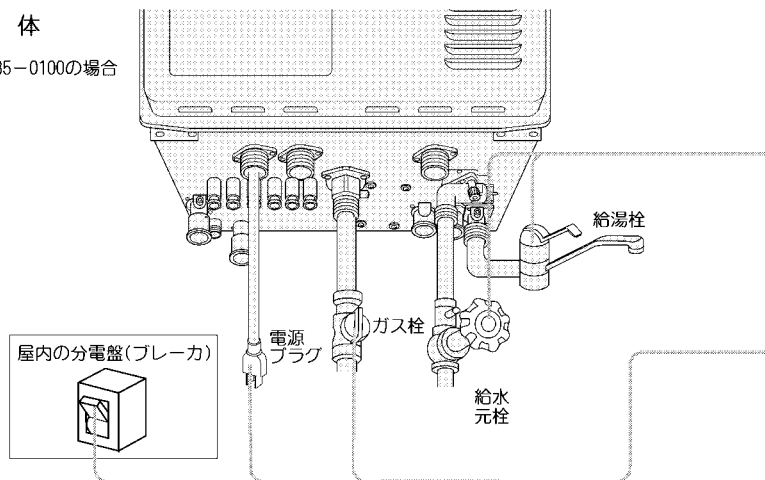
修理が発生した場合、有料となります。

初めてお使いになるとき

♪【メロディーでお知らせ】
👩【女性の声でお知らせ】

本体

例:135-0100の場合

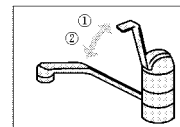
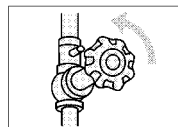


浴室リモコン

※給湯栓は、レバーを上げた状態が「開」の場合で説明しています。

1

■ 水の出ることを確かめる

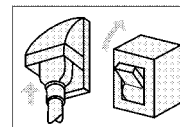
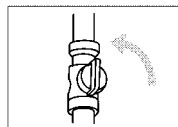


給水元栓 給湯栓を開ける

①開けて水を出し、
②閉める。

2

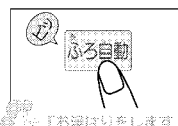
■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け 電源プラグを差し込む または、ブレーカを 「入」にする

3

■ お風呂の湯が出ることを確かめる(ポンプに水を入れるため)

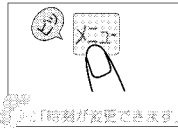


風呂自動スイッチを 押す

①浴そうに湯が出ることを確かめ、
②再度風呂自動スイッチを押し、
湯を止める。

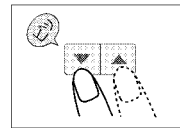
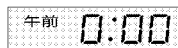
4

■ 現在時刻を合わせる(台所リモコンでも操作できます)



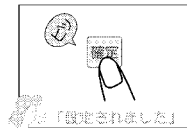
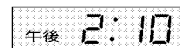
押す(「ピッ」となるまで)

●午前 0:00 が点滅。



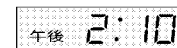
時刻を合わせる

●例 午後 2 時 10 分に
合わせる。



確定する

※押さない場合は、
確定しません。

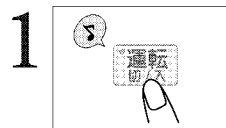
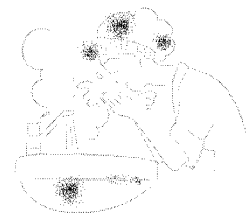
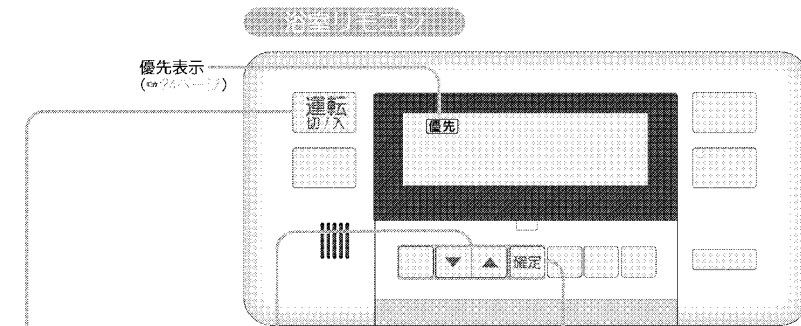
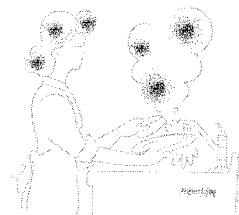


「●」が点滅

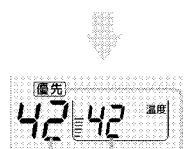


- スイッチは、1回押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。
- 浴室リモコン・台所リモコン両方ある場合 ※ 片方の現在時刻を合わせると、両方設定されます。
- 一度設定された現在時刻を変更する場合
⇒ [時刻] を押し(5回)、時刻設定モードにして時刻を変更してください。
- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。

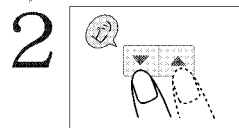
お湯の出しかた



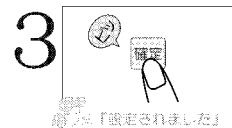
1 押す
●運転ランプ点灯。



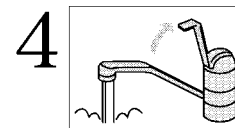
前回の給湯温度 ふろ温度 優先表示



2 温度 (最初の「ピッ」となるまで押す)
を設定する
●お湯の温度は約38~45・46・47・60℃で設定できます。



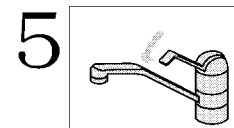
3 確定する
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。



4 給湯栓を開ける
●「」が点灯。



給湯燃焼表示



5 給湯栓を閉める
●「」が消灯。

■ 2回目以降は
※ 前回と同じ温度のお湯が出ます。



- お湯はり中、給湯するとお風呂と同じ温度のお湯がでます。
- 給湯栓を絞りすぎると熱いお湯が出たり、「」の点灯・消灯をくり返すことがあります。
- 給湯温度は目安です。

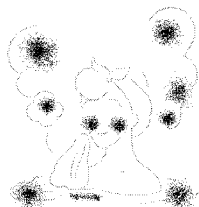
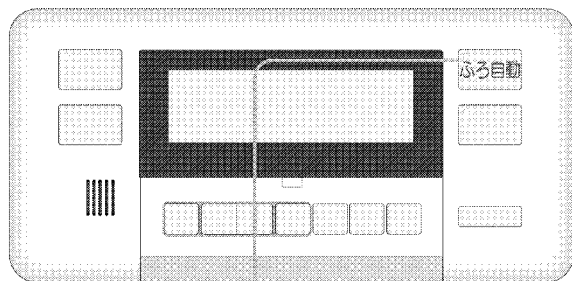
■ 台所リモコンでも操作できます。

お湯はりのしかた

お湯はりとは、

ふろ自動「入」で浴そうに設定した湯量・温度のお湯を自動的にはる機能です。

全自動タイプ



準備：
①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをして
ください。



押す

●ランプが点灯。

〈例：全自動タイプの場合〉



ふろ湯量

お湯はりが終わると

「おふろが沸きました」

「お湯はりしました」



給湯温度 ふろ温度

⇒その後、4時間保温と足し湯をします。

〔保温〕が点灯。〔自動タイプは保温のみ〕

保温時間経過後、自動停止します。

※保温時間を変更する場合 26～27ページ

お湯はり・保温を
途中で止めるとき

⇒再度「ふろ自動」を押す。

(ランプ・優先・保温) が消灯)

「ふろ自動」を押した後のお湯はりについて

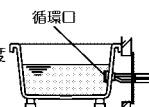
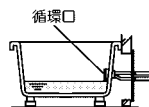
- お湯はり中、一旦停止するのは「」がついたり消えたりするのは
⇒浴そうの湯量などを確認するためで異常ではありません。
- 浴そうに残り湯がある時
⇒26～27ページで設定した湯量・温度にお湯はりします。
- 小さい浴そうのとき
⇒湯量が設定よりも高くなる場合があります。

「ふろ自動」を押した後のお湯はりについて

- お湯はりを開始し、すぐに一旦停止するのは
⇒浴そうに残り湯があるか確認するためで異常ではありません。
(「ふろ自動」を「入」にし、約10 Lお湯はりすると約1分間止まります。)
- ふろ自動スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にする
⇒残り湯の状態により、下記のようにお湯はりされます。湯量にご注意ください。

浴そうに残り湯・水がある状態でお湯はりする場合

- 残り湯が循環口より下にある場合
⇒新たに設定量のお湯はりをしますが、残り湯分だけ多くなります
ので浴そうあふれにご注意ください。
- 残り湯が循環口より上にある場合
⇒26～27ページで設定した湯量・温度に沸きあげます。
ただし湯量、温度に多少のばらつきが出ます。特に残り湯の温度
が高いと、湯量が設定湯量より少ない場合があります。
また、沸きあげに多少時間がかかります。



- 湯かげん調節は 26～27ページを参照してください。
- 給湯中にふろ自動スイッチを押すと
⇒お湯はりは待機します。給湯栓を閉めると、お湯はりを開始します。
- お湯はり中は 26～27ページの優先表示は消えています。
- ふろ温度は目安です。

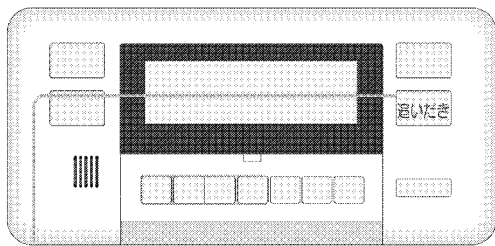
- お湯はり中に給湯栓を開けると
⇒お湯はりは一旦停止します。 ⇒給湯温度はふろ温度と同じになります。
⇒給湯の湯量に変化することがあります。
- お湯はり・保温を途中で止めたとき
⇒熱源機が停止するまで時間がかかります。
- 保温中の湯温検知は30分に1回行ないます。

湯がげん調節のしかた

足し湯・シャワーの使いかた

お湯がげん調節のしかた

お湯がげん調節のしかた



■ 温度を設定したい場合

※24ページ

■ 途中で止めるとき

※もう一度 追いだし を押す。

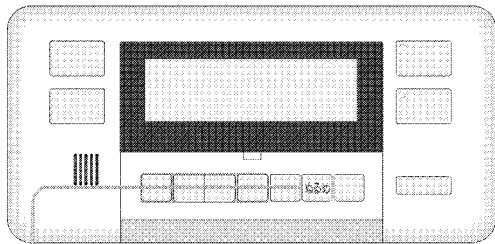
1 押す (追いだしランプ点灯)

※「追いだします」

※設定温度になると自動的に停止します。
(ただし、スイッチを押したとき湯温が
ほぼ設定温度の場合は、設定温度より
約2℃高く沸き上げます。)

お湯がげん調節のしかた

お湯がげん調節のしかた



■ 途中で止めるとき

※もう一度 ぬるめ を押す。

1 押す (ぬるめランプ点灯)

※「ぬるめ運転をします」

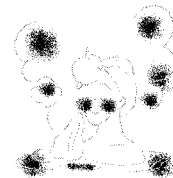
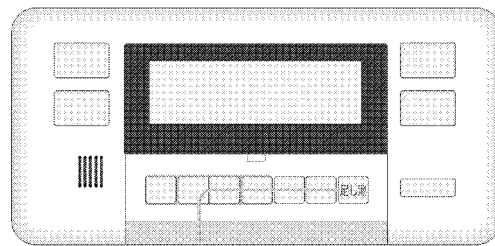
※約10 L水を足し、一旦燃焼して止まります。
(一旦燃焼するのは、熱源機内の湯温を保つ
ためです)

【お知らせ】

●給湯、シャワー使用中は、ぬるめ は作動しません。
給湯使用後に、再度 ぬるめ を押してください。

お湯がげん調節のしかた

お湯がげん調節のしかた



■ 温度を設定したい場合

※24ページ

■ 途中で止めるとき

※もう一度 足し湯 を押す。

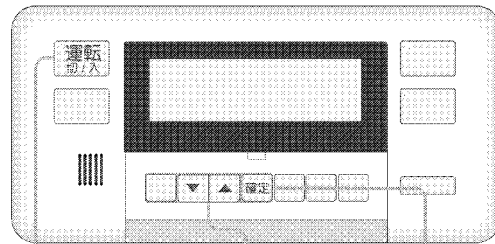
1 押す (足し湯ランプ点灯)

※「足し湯をします」

※ふる設定温度のお湯を約20 L足し湯
すると自動的に停止します。

お湯がげん調節のしかた

お湯がげん調節のしかた



優先については、
24ページを参照して
ください。

1 押す

●運転ランプ点灯。

●「優先」点灯。

2 温度を

設定する

(最初のパピッとなる
まで押す)

3 押す

※「設定されました」

※押さない場合は、15秒後に自動的に
確定します。

4 給湯栓を 開ける





暖房・浴室暖房のしかた

暖房水の補給について

■自動補給の場合

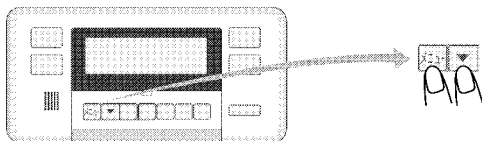
暖房用タンクの水が減ると自動的に補給します。

■手動による補給の場合

リモコンのエラーコード表示部に「433」が点滅したら暖房水を補給してください。

補給手順

1. メニュースイッチと ▼ スwitchを同時に2秒以上押してください。



2. エラーコード表示部の「433」が消えるのを確認してください。
3. 熱源機本体下部にある補給水バルブ（おたけいり口）を左に回し、開いてください。
4. 熱源機のオーバーフロー口（おたけいり口）から水が出るのを確認してください。
5. 補給水バルブを右に回し、閉めてください。

暖房のしかた

エアコン、放熱器、床暖房（2温度タイプのみ）などを使用できます。

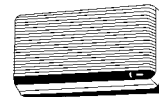
【お知らせ】 ●暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用の場合は、放熱器のバルブを開け、暖房スイッチを押してください。

エアコンを使用する場合

- エアコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

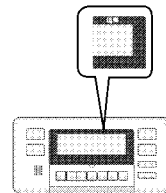
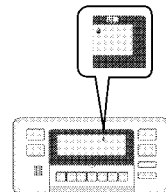
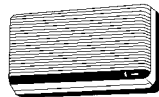
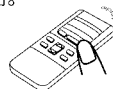
- 1 エアコンの
運転スイッチを入れる

●「」が点灯。



- 2 エアコンの
運転スイッチを切る

●「」が消灯。



使う

暖房・浴室暖房のしかた

浴室暖房乾燥機のしかた

- 浴室暖房乾燥機の操作は、それぞれの説明書に従ってください。

- 1 台所リモコンの
浴室予備暖房スイッチを入れる

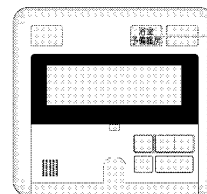
●「浴室暖房運転します」

●「」・「」が点灯。

※浴室暖房乾燥機によっては浴室予備暖房スイッチを入れても暖房運転できない機種があります。その場合、浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。

- 2 台所リモコンの
浴室予備暖房スイッチを切る

●「」・「」が消灯。



浴室予備暖房スイッチ

知って おきましょう！ 優先／静音運転のしかた

(浴室リモコンと台所リモコンがある場合)

◆浴室でシャワーを使用している場合、台所リモコンで温度を高温に設定することによるやけど防止のため、優先表示の出ているリモコンのみ給湯温度を設定できるようにしています。

●優先表示が消えているときは

⇒浴室リモコンの優先スイッチを押す。

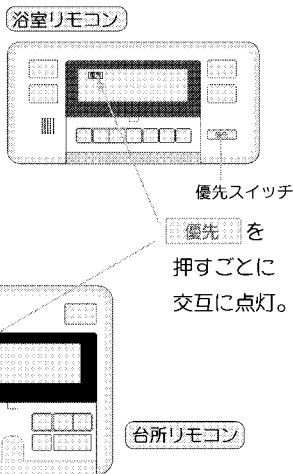
「給湯温度が変更できます」

●優先スイッチは

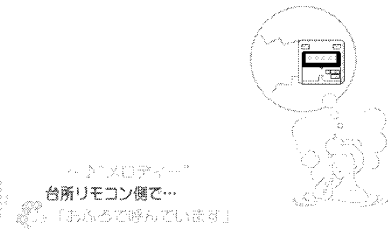
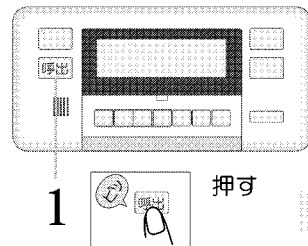
⇒押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

●台所リモコンの「運転」を押し直し、「入」にすると

⇒優先表示は必ず台所リモコンに移動します。
※他の給湯栓を使用中は、優先切換しないでください。
やけどの原因となります。



知って おきましょう！ 呼出／入浴剤について



次のような入浴剤などは使用しないでください。(熱源機故障の原因となります。)

- 生薬（葉、茎、その他固形のもの）
- ミルク成分配合
- 異種の入浴剤を同時に混ぜたもの
- 浴そう内でのせっけん

※硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤は、それらの注意書きをよく読んで、熱源機に影響のないものを使用してください。

暖房中の運転音が気になるとき

- 1 押す
「静音運転が設定されました」
●「静音」が点灯
運転音を下げた運転します。
(暖房能力は少し低下します。)
- 2 押す
「静音運転が解除されました」
●「静音」が消灯

使いこなす

優先／静音運転／呼出／入浴剤について

知って おきましょう！ ふろ湯量の設定のしかた

1 2・3 4 5

1

押す
● 運転ランプ点灯。

2

押す (「ビッ」となるまで)

3

再度 1 回押す
● ふろ湯量設定モードにする。

4

ふろ湯量を設定する

全自動タイプ

- 循環口から高さ約13～29cmの間で設定できます。
- 設定は1段階約1.8cmで10段階あります。
- 例: 1人～2人用浴そうの標準湯量は6です。

自動タイプ

- 約40 L～約300 L (約20 Lごと)・400 L・500 Lで設定できます。
- (例: 1人～2人用浴そうの標準湯量は180Lです。)

5

確定する
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

ふろ湯量

ふろ湯量 (出荷時)

ふろ湯量 (出荷時)

■ 台所リモコンでも操作できます。

● 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。

知って おきましょう！ ふろ温度の設定のしかた

1 2・3 4 5

1

押す
● 運転ランプ点灯。

2

押す (「ビッ」となるまで)

3

再度 2 回押す
● ふろ温度設定モードにする。

4

ふろ温度を設定する
● 約35～45・46・47・48℃で設定できます。

5

確定する
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

ふろ温度

■ 台所リモコンでも操作できます。

● 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。

知って お湯はり予約のしかた

お湯はり予約とは、予約時刻にお湯はりを完了する機能です。

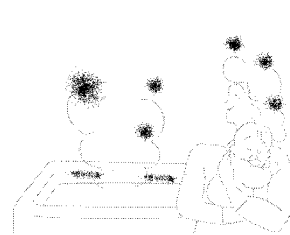
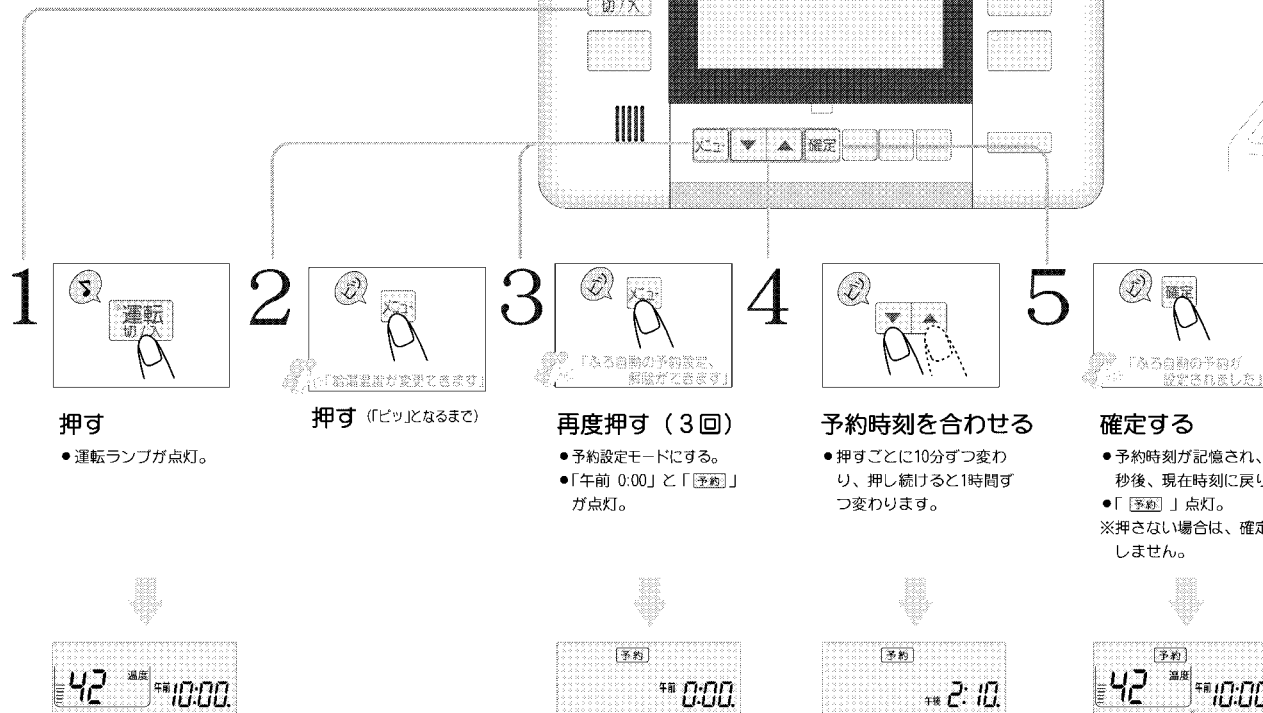
準備：①おふろの排水栓を閉じる

②浴そうのふたをする

③現在時刻を合わせる（※14～16ページ）

※現在時刻を合わせていないと、予約設定はできません。

④ふろ湯量・ふろ温度を設定する（※26～27ページ）



ほぼ予約時刻にお湯はりが完了します

～「メモディー」～

「おふろが満ちました」

■ 予約を解除するとき（予約待機中）

⇒ 手順2、3の操作後、**予約**を2回押す。

「ふる自動の予約が解除されました」

■ 予約運転中に運転を止めるとき

⇒ **ふる自動** または **運転** を押す。

■ 2回目以降、予約時刻が前回と同じ場合

※台所リモコンにも同じ表示が出ます。⇒ 手順4の操作は必要ありません。

■ 台所リモコンでも操作できます。



- お湯はり予約の待機中（お湯はり開始するまで）はふる自動・追いだき・ぬるめ・足し湯スイッチは使えません。給湯は使えます。
- お湯はりを開始すると、優先表示が消えます。
- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内にこなしてください。
- 予約運転ではお湯はり後の保温・足し湯はしません。

- お湯はり予約の待機中に予約時刻を確認するとき
⇒ 上記手順2、3の操作で予約時刻を確認し、**確定**を押す。
- お湯はり予約をしていない時に前回の予約時刻を確認するとき
⇒ 上記手順1～3の操作で予約時刻を確認し、再度**予約**を2回押す。
- 予約待機中に、運転スイッチを「切」にすると、予約は解除されます。

使いこなす

お湯はり予約のしかた

知って おきましょう！ お知らせパターン・音量・保温 時間の設定のしかた

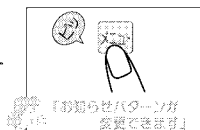
※各設定の変更は、運転「切」の状態で行ってください。

●初期設定は音声1に設定しています。

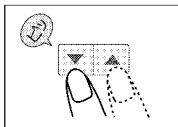
それぞれのリモコンで独自のパターンが設定できます。

- ★音声お知らせを「切」にしたい場合は、音声2または音声3に設定してください。
- ▶音声1. メロディーと音声でお知らせ
「メロディーと音声でお知らせします」
 - ▶音声2. メロディーだけでお知らせ
「メロディーだけでお知らせします」
 - ▶音声3. ブザーでお知らせ
「ブザーでお知らせします」

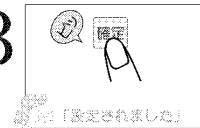
1 約2秒間押す



2 パターンを設定する



3 確定する



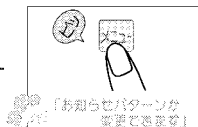
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

●初期設定は音量2に設定しています。

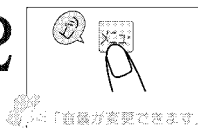
それぞれのリモコンで独自の音量が設定できます。

- ▶音量0. 音量ゼロ (何も 鳴らない)
- ▶音量1. 音量小
「音量小です」
- ▶音量2. 音量中
「音量中です」
- ▶音量3. 音量大
「音量大です」

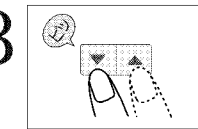
1 約2秒間押す



2 再度1回押す



3 音量を設定する



4 確定する



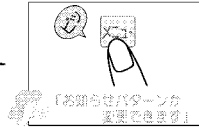
※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

●初期設定は保温4時間に設定しています。

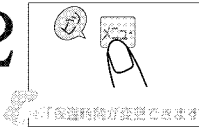
浴室リモコン、台所リモコンどちらでも変更できます。

- ▶0. 保温なし
- ▶1. 保温時間1時間
- ▶2. 保温時間2時間
- ▶3. 保温時間3時間
- ▶4. 保温時間4時間
- ▶5. 保温時間5時間
- ▶6. 保温時間6時間
- ▶7. 保温時間7時間
- ▶8. 保温時間8時間

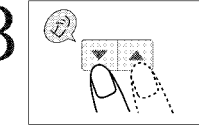
1 約2秒間押す



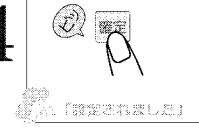
2 再度2回押す



3 保温時間を設定する



4 確定する



※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

使いこなす

お知らせパターン・音量・保温時間の設定のしかた

日常の点検とお手入れ

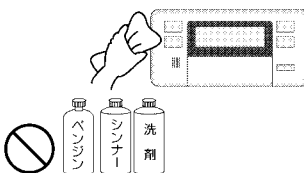
「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて熱源機が冷えてから行なってください。次の要領で定期的に行なってください。

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。



〔お願い〕 ベンジン・シンナーなどは使用しない！

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。



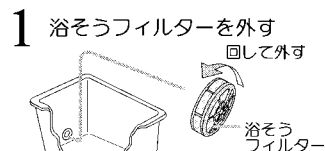
〔お願い〕 ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると銅イオンと化合して浴そう内側に青くスジがついたり、青く変色することがあります。

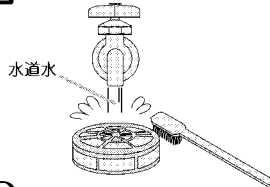
※ふろがま内(循環経路)の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。

●ゴミや湯あかなどをそのままにしておく目詰まりを起こし熱源機の異常の原因となります。

〔目詰まりがひどくなると、追いつきがでなくなる場合があります〕



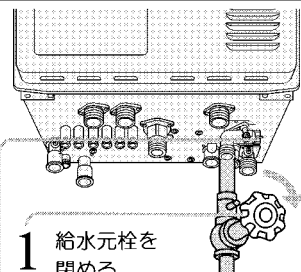
2 歯ブラシなどで洗う



警告

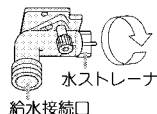
浴そうフィルターは外したまま使用しない

⊘ 思わぬ事故の原因となります。

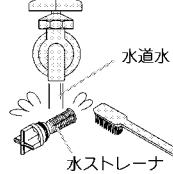


1 給水元栓を閉める

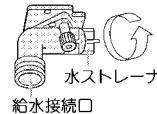
2 給水接続口にある水ストレーナを外す



3 歯ブラシなどで洗う

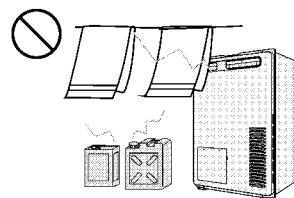


4 もとのように取り付ける



5 給水元栓を開ける

■ 熱源機の異常音は？
■ 外観に異常は見られませんか？
■ 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？



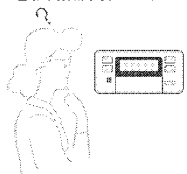
定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

故障かな？（つづく）

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

運転（燃焼）しない



- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。
ブレーカが「入」になっていますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。（※寒冷地）
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。
⇒点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていますか。（※寒冷地）
- リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。
- ガスメータに異常はありませんか。
（マイコンメータをお使いの場合、マイコンメータのランプが点滅していませんか。）

お湯があつくらない

- ガス栓が全開になっていますか。
- 混合水栓の湯と水の量の調節は適切ですか。

低温の湯が出ない

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていますか。（※寒冷地）

リモコンの優先表示が点灯しない

- 浴室リモコンの浴室優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。（※寒冷地）

異常時には安全装置が働きます

1. 給湯（ふろ）バーナーの炎が消えた場合……………給湯立消え安全装置
2. 暖房バーナーの炎が消えた場合……………暖房立消え安全装置
3. 暖房回路の水が万一極端に減った場合……………空だき防止装置（暖房）
4. 空だきした場合……………空だき安全装置（給湯・暖房）
5. 熱源機の温度が異常に上昇した場合……………過熱防止装置
6. 電気回路に漏電が生じた場合……………漏電安全装置
7. 過電流が流れた場合……………電流ヒューズ
8. 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合……………過圧防止安全装置

上記1～7の安全装置が働いた場合

リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡してください。

● 次のような現象は故障ではありません。

寒い日に排気口から湯気がでる

排気ガス中の水蒸気が湯気になるためであり異常ではありません。

給湯停止後もファンの回転音がする

再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。

給湯栓を絞るとお湯が白くなる

水の中の空気が分離して気泡となるためです。

給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある

水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。

お湯はりの途中でお湯はり一旦停止する

浴そうの湯量を確認するためで異常ではありません。

お湯はりしたとき設定した湯量にならない

浴そうに水・湯があるためです。（※寒冷地）

お湯はり時、給湯・追いだし燃焼表示がついたり消えたりする

浴そうの残り湯の量を判定するため、異常ではありません。

お湯はり中に浴そうの循環口から空気が出て、「ポコポコ」と音がする

お湯はり中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいるためです。

お湯はり止まる、又はお湯はり時間が長い

お湯はり中に給湯栓を開けたためです。給湯栓を閉めるとお湯はりを開始します。

暖房中、「△」がついたり消えたりする

お部屋の温度に応じて「△」がついたり消えたりします。

冬期、暖房を使っていないのに、熱源機が燃焼する

暖房回路の凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がる時熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。

使用していないのに、ときどきポンプの回転音がする

暖房回路の空気を抜くために1か月に1回程度自動的にポンプ循環を行ないます。異常ではありません。

お湯はり中に燃焼しないので設定湯量まで水が入る

水温が高くて注水量が少ない場合は、設定温度のお湯が得られません。注水完了後に追いだきして、設定温度まで沸き上げます。

給湯使用中に追いだしスイッチを押すと、給湯量が少なくなる

給湯と追いだきを同時に使用すると給湯量が少なくなる場合があります。

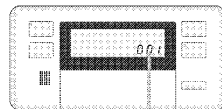
故障かな？

必要なとき

故障かな？

エラーコードについて

不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。



エラーコード

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行ってください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを長時間連続運転したため。	再度沸き上げる場合、追いだしスイッチまたはふろ自動スイッチを「切」にして再操作してください。
111	給湯側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。または、追いだしスイッチ
721	給湯側およびふろ側の回路に不具合が生じたため。	(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。
113	暖房側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、暖房の放熱器を使用
723	暖房側の回路に不具合が生じたため。	している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
412	お湯はり中に断水したため。	再通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
433	暖房用タンクの水が減ったため。	22ページの要領で暖房水を補給してください。
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房運転をしたため。	すべての水抜き栓が「閉」・補給水バルブが「開」(24ページ)になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。
632	浴そうの循環口より約10 cm以上水が入っていないため。	浴そうの循環口より約10 cm以上水または湯を入れ、追いだしスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にし、排水栓をしっかり閉め、再度「入」にしてください。
000	停電したため。	再通電後、時刻を設定しなおしてください。また、各設定が初期に戻っている場合があります。その場合、設定し直してください。
101	熱源機の燃焼に不具合が生じたため。	お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
991	熱源機の燃焼に不具合が生じたため。	ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡してください。
上記以外の表示		運転スイッチをいったん「切」にして再操作してください。

上記の処置を行っても同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。このとき、エラーコードの表示をお知らせください。

こんなときは

	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	〈停電時〉 ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 〈再通電後〉 ●使いかた(216ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は、停止します。 ●給湯栓を閉じてください。 〈再通水後〉 ●使いかた(216ページ)によりご使用ください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(216ページ)によりご使用ください。
ふろお湯はり	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ●使いかた(216ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ●エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後18ページに従ってください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(216ページ)によりご使用ください。
ふろ追いだし	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 〈再通電後〉 ●使いかた(220ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●通常は、正常運転します。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止します。 ●追いだしスイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(220ページ)によりご使用ください。
暖房	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈再通電後〉 ●使いかた(223ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●通常は、正常運転します。 ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(223ページ)により再操作してください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(223ページ)によりご使用ください。

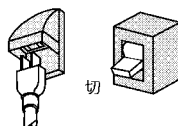
故障かな？(エラーコードが出た場合)

必要なとき

凍結予防について (つづく)

給湯・ふろ側

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



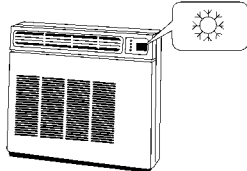
絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

※配管・バルブの凍結予防はできません。

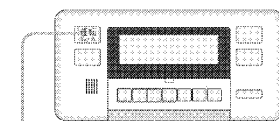
暖房側

- 外気温が0℃近くになると自動的に凍結予防運転します。
(リモコンの暖房燃烧表示「」が点灯。)
- ※ガス栓を閉めないでください。

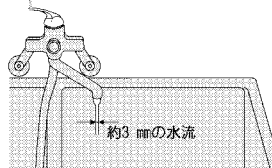
「」のある放熱器は運転スイッチを「」にする。



給湯側



- 1 運転スイッチを切る
- 2 給湯栓を開け、少量の水を出しつづける

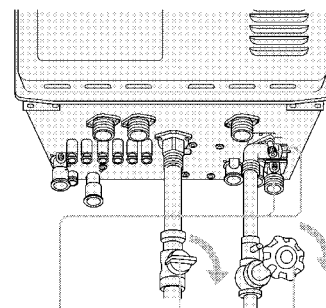


※電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっています。)

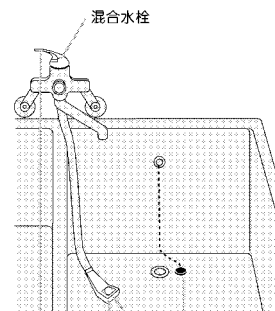
ふろ・暖房側

左記の説明と同じです。

給湯・ふろ側



- 1 ガス栓を閉める
- 2 給水元栓を閉める
- 3 水抜き栓を開ける(2カ所)



- 4 浴そうの水を排水する
- 5 給湯栓を開ける



- 7 ふろ自動スイッチを「入」にする
- 8 約30秒後 追いだきスイッチを「入」にする
(浴そうの循環口より水が出ることを確認)
- 9 約30秒後 追いだきスイッチを「切」にする
- 6 シャワーを床面まで下げる

※配管・バルブの凍結予防はできません。
※エラーコードの表示が出る場合があります。異常ではありません。
※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。
※手順通り行なわないと、水抜きが不十分で凍結の恐れがあります。

凍結予防について

暖房側

※不凍液の有無を確認してください。

※給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。

※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。

〔不凍液が入っている場合〕

水抜きの必要はありません。

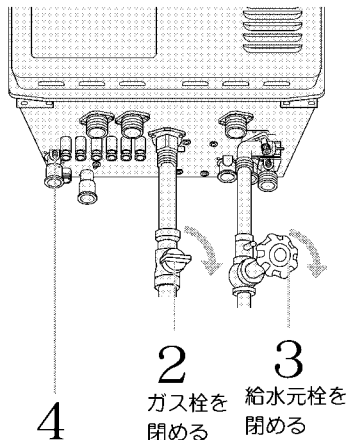
〔不凍液が入っていない場合〕

水抜きをしてください。

※1. 放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。

※2. 不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで識別できます。

1 電源プラグを抜く または ブレーカを「切」にする

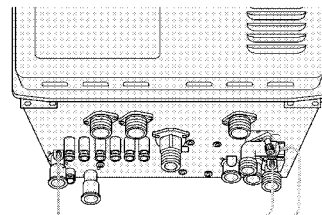


4 水抜き栓を
開ける (1カ所)

2 ガス栓を
閉める

3 給水元栓を
閉める

※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。



水抜き栓

1 水抜き栓を閉める (3カ所)

※以下の手順は14～15ページの「初めてお使い
になるとき」に従ってお使いください。

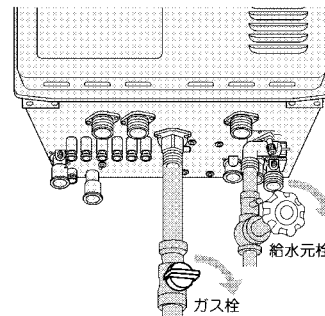
2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開け、水を出し、 閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込むまたは ブレーカを「入」にする

6 ふろ自動スイッチを押し、 湯を出す。再度ふろ自動 スイッチを押し、湯を止める。



ガス栓

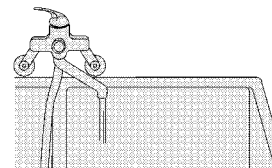
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け 水が出ることを確認する



●凍結したまま使わないでください。

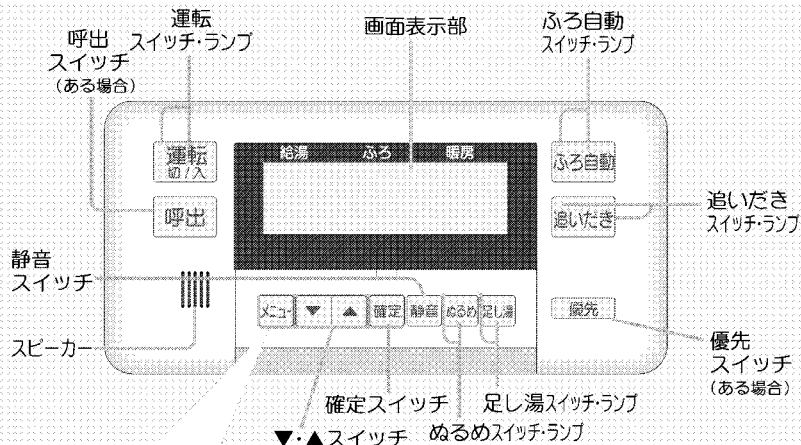
●凍結による修理は有料です。

凍結予防について

必要なとき

各部のなまえ (つづく)

浴室リモコン



メニュースイッチ

☆押すごとに次の設定ができます。

- ①現在時刻設定 (※15ページ)
- ②給湯温度設定 (※16ページ)
- ③ふろ湯量設定 (※28ページ)
- ④ふろ温度設定 (※26ページ)
- ⑤お湯はり予約の設定と解除 (※29ページ)

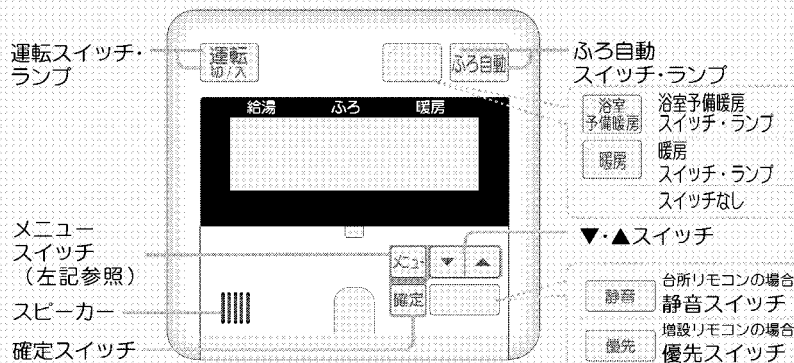
※但し、①時刻設定で、一度時刻設定すると、次からは②→③→④→⑤→①の順となります。

☆運転「切」時、約2秒間押し続け、その後押すごとに次の設定ができます。

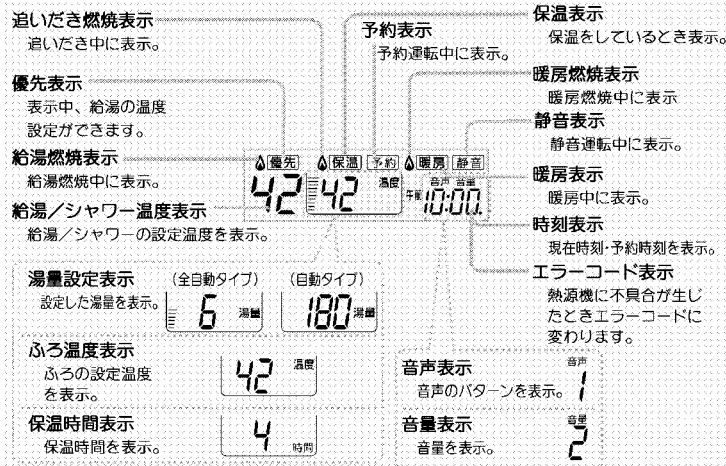
- ①現在時刻設定 (※15ページ)
- ②お知らせパターン設定 (※30ページ)
- ③音量設定 (※30ページ)
- ④保温時間設定 (※31ページ)

※但し、①時刻設定で、一度設定すると、次からは②→③→④→①の順となります。

台所・増設リモコン



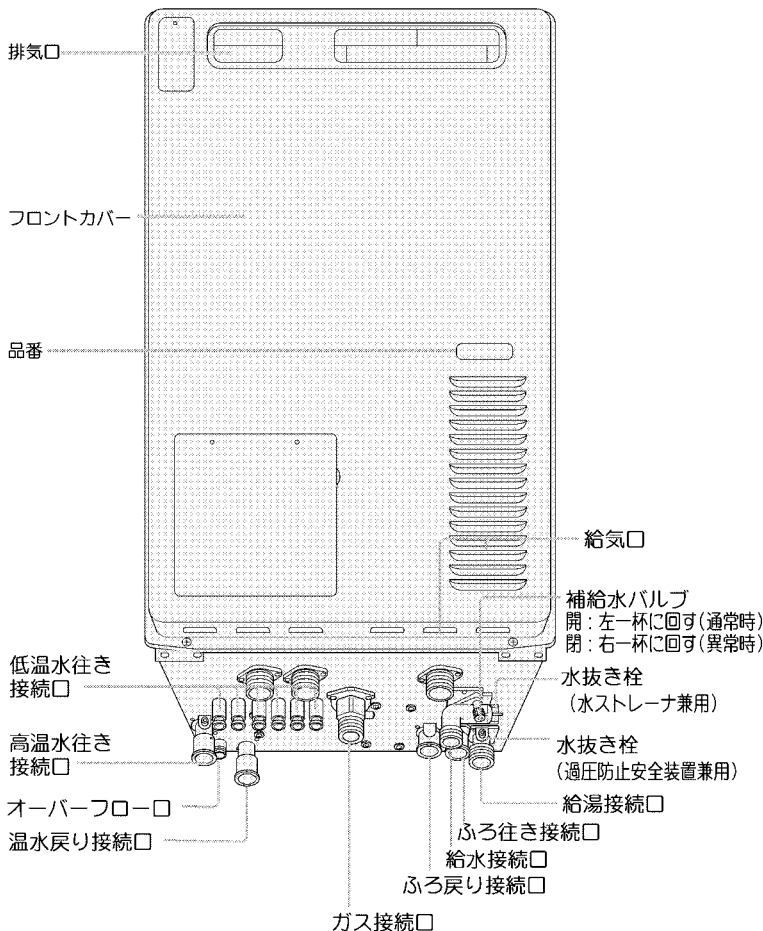
画面表示部 (浴室・台所・増設リモコン共通)



- 上記画面表示は、説明のため全部表示したものです。
- 「給湯/シャワー温度」「ふろ温度」の数値は目安です。
- 暖房の温度設定はできません。

各部のなまえ

例:135-0100の場合



仕 様 (つづく)

機 種 名		ガス給湯暖房機			
品 番		135-0100	135-0200	135-0108	135-0208
型 式		AT-4200ARSAWQ	AT-4200ARSAWQ	AT-4200AFSAWQ	AT-4200AFSAWQ
種 類	給湯方式	先止め式			
	暖房方式	温水循環方式			
	給排気方式	強制排気方式	強制排気方式	強制給排気方式	強制給排気方式
設 置 方 式	給湯・暖房	タイレクト着火			
	給湯・暖房	タイレクト着火			
外形寸法 (mm)	本体	高さ750×幅480×奥行250			
	浴室リモコン	高さ96×幅198×奥行26.5			
	台所リモコン	高さ120×幅128×奥行23.5			
質 量 (kg)	本体	45			
	浴室リモコン	0.3			
	台所リモコン	0.2			
水 圧 (kPa)	使用水圧	100 以上			
	動作水圧	15			
最 低 作 動 水 量 (L/分)	給湯	2.8			
	暖房	0以上 (締切り使用可)			
	ふろ	3.0			
ポンプ機外揚程 (m)	給湯	63.7 kPa : 5.0 L/分のとき			
	暖房	高温39.2 kPa : 10.0 L/分のとき 低温49.0 kPa : AW6Q 10.0 L/分のとき			
	ふろ	63.7 kPa : 5.0 L/分のとき			
温 度 制 御 方 式	給湯	電子式ガス比例制御方式			
	暖房	電子式ガス比例制御およびON/OFF制御方式			
	浴室リモコン	約38 ~ 約47 (1℃間隔) 約60			
温 度 設 定 (℃)	浴室リモコン	約35 ~ 約48 (1℃間隔)			
	給湯・シャワー	約38 ~ 約47 (1℃間隔) 約60			
	暖房	高温: 約80 低温: 約60 (55.65.70℃に切換可)			
給湯量制御方式		水量比例制御方式 (Q機能)			
安 全 装 置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター・水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置			
消費電力 (60 Hz) (W)	運転時	310	295		
	運転停止時	3.5	3.5		
	凍結予防運転時(最大)	215	200		
給 水 ・ 給 湯	ガス	R $\frac{3}{4}$ オネジ (20A)			
	給湯	R $\frac{3}{4}$ オネジ (20A)			
	高温往	QF16ジョイント対応			
接 続	暖房低温戻	QFジョイント対応	QF16ジョイント対応	QFジョイント対応	QF16ジョイント対応
	ふろ	QF16ジョイント対応			
	オーバーフロー口	R $\frac{1}{2}$ オネジ			
電 気	本体電源	AC100V 60Hz 3心 (うち1心アース用)			
	浴室リモコン	浴室リモコン2心・台所リモコン2心			
	給排気接続口	屋内式: 給気口φ100、排気口φ100			
B L 品 番		AT-4200ARSAWQ	AT-4200ARSAWQ	AT-4200AFSAWQ	AT-4200AFSAWQ

凍結予防について/仕様

必要なとき

仕様

機種名	ガス給湯暖房機
品番	135-4050
型名	AT-2801ARSSW3Q
種類	給湯方式 先止め式 暖房方式 温水循環方式 給排気方式 強制排気方式 強制給排気方式
設置方式	屋外設置方式 屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房 ダイレクト着火
外形寸法 (mm)	本体 高さ750×幅480×奥行200 浴室リモコン 高さ96×幅198×奥行26.5 台所リモコン 高さ120×幅128×奥行23.5
質量 (kg)	本体 43 浴室リモコン 0.3 台所リモコン 0.2
水圧 (kPa)	使用水圧 100 以上 作動水圧 15
最低動作水量 (L/分)	給湯 2.8 暖房 0以上 (締切り使用可) ふろ 3.0
ポンプ機外揚程	ふろ 63.7 kPa : 5.0 L/分のとき 暖房 高温39.2 kPa : 10.0 L/分のとき 低温49.0 kPa : 6.0 L/分のとき
温度制御方式	給湯 電子式ガス比例制御方式 暖房 電子式ガス比例制御およびON/OFF制御方式
温度設定 (℃)	浴室 約38 ~ 約47 (1℃間隔) 約60 リモコン給湯・シャワー 約38 ~ 約47 (1℃間隔) 約60 暖房 高温: 約80 低温: 約60 (55.65.70℃に切換可)
給湯量制御方式	水量比例制御方式 (Q機能)
安全装置	給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水量センサー・誘導電保護装置・漏電安全装置
消費電力 (60 Hz) (W)	運転時 295 運転停止時 3.5 凍結予防運転作動時(最大) 205
接続	ガス R 3/4 オネジ (20A) 給水・給湯 R 1/2 オネジ (15A) 高温往 QF16ジョイント 対応 暖房低温往 QFジョイント 対応 戻 QF16ジョイント 対応 ふろ QF16ジョイント 対応 オーバーフロー R 1/2 オネジ 電気 本体電源 AC100 V 60 Hz 3心 (うち1心アース用) リモコン 浴室リモコン2心・台所リモコン2心 給排気接続 口 屋内式: 給気口φ80、排気口φ80
B L 品番	AT-2801ARSSW3Q
	AT-2801AFSSW3Q

<135-0100 (AT-4200ARSAW6Q)・135-0108 (AT-4200AFSAW6Q) >
<135-0200 (AT-4200ARSAWQ)・135-0208 (AT-4200AFSAWQ) >

使用ガス	使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量 kW				標準出力 kW		
		全ガス消費量	給湯ガス消費量	最大	最小	ふろ	暖房	能力最大時
都市ガス用	13A	69.5	52.3	5.47	12.8	17.4	給湯	41.9 [24号]
	12A	64.7	48.7	5.12	12.0	16.3	ふろ	38.8 [22.3号]
LPガス用	69.7	52.5	5.46	12.9	17.5	41.9 [24号]	暖房	8.72

		都市ガス用13A	都市ガス用12A	LPガス用
出湯能力 L/分 (水圧:100 kPa時)	水温+25℃上昇	[24.0]	[22.3]	[24.0]
	水温+40℃上昇	15.0	13.9	15.0

●出湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

<135-4050 (AT-2801ARSSW3Q)・135-4058 (AT-2801AFSSW3Q) >

使用ガス	使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量 kW				標準出力 kW		
		全ガス消費量	給湯ガス消費量	最大	最小	ふろ	暖房	能力最大時
都市ガス用	13A	52.3	35.0	5.47	12.8	17.4	給湯	27.9 [16号]
	12A	48.7	32.6	5.12	12.0	16.3	ふろ	26.0 [14.9号]

		都市ガス用13A	都市ガス用12A
出湯能力 L/分 (水圧:100 kPa時)	水温+25℃上昇	[16.0]	[14.9]
	水温+40℃上昇	10.0	9.3

●出湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

仕様

必要なとき

アフターサービスについて

アフターサービスの手続き

- 34～37ページの「故障かな?」を見てもう一度確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで
お買い上げの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただく
ときは次のことをお知らせください。

(1)品 名……………ガス給湯暖房機

(2)品 番……………正面右中央部に貼付してあります。

(3)現 象……………エラーコードなど（できるだけ詳しく）

(4)お客様名・住所・電話番号・道順

(N)135-0100(U)
大 阪 ガ ス 株 式 会 社
(AT-4200ARSAW6Q)

転居される場合

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、
転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支
社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となりま
す。ただし、ガスの種類・電気の周波数によっては調整できない場合もあります。
- 転居・移設の際は、近隣の家に迷惑にならない場所に設置してください。騒音が気になっ
たり、温風で植木が枯れたりします。

保証と修理について

- 保証期間中は…
保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、
この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製
造打切後10年です。
ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料で修
理いたします。

索引

あ	アースについて……………10	な	なまえ……………42
	アフターサービス……………50		24時間風呂について……………13
	安全装置について……………34		入浴剤・洗剤について……………13・25
	異常燃焼のときは……………8		残り湯からお湯はりをする……………19
	エラーコードについて……………36		
	追いき時の水位について……………20		
	お湯はりに一旦停止する……………19		
	お湯をあつくる……………20		
	お湯を足す……………21		
	お湯を出す……………16		
	お湯をぬるくする……………20		
	お湯をはる……………18		
	音声お知らせ機能付リモコン……………3		
		は	早見表……………4
か	火災のときは……………8		フィルターの掃除……………32
	ガス種について……………10		分解・修理について……………9
	ガスの供給停止のとき……………37		保温について……………18
	ガス漏れ時は……………7		
	ガス漏れに気づいた時は……………7		
	可燃物について……………9		
	給湯・シャワー使用時は……………7・9		
	給湯栓を絞るすぎると……………17	ま	水ストレーナの掃除……………33
	給湯とお湯はり同時使用の場合……………17・18		
	故障かな?……………34		
	混合水栓について……………12		
さ	時刻合わせ……………15		
	地震のときは……………8		
	シャワー使用時は……………7・9		
	修理について……………9・50		
	出湯能力について……………47		
	仕様……………45	や	優先について……………24
	スプレー缶について……………9		浴そうの循環口まで……………19
	静音運転について……………24		水が入っていないとき……………36
	設置工事について……………11		浴そうの栓忘れ……………25
	ソーラーシステムについて……………10		呼出し……………25
	掃除(本体・リモコン・浴そうフィルター)……………32		
	(水ストレーナ)……………33		
た	断水のとき……………12・37		
	暖房について……………22		
	定期点検について……………33		
	停電のとき……………12・37	ら	離隔距離について……………9
	テレビ・ラジオとの離隔距離……………13		リモコンの使用場所……………12
	転居のとき……………50		
	点検とお手入れ……………32		
	電源コード・プラグについて……………8		
	電源について……………10		
	凍結した場合……………41		
	凍結予防について……………38		